

2016年12月購入図書

No.	図書名	内容	著者名	出版社
1	家族のゆくえは金したい	“愛と絆”だけでは乗りきれません。持てる世代の親と、無職の子ども。依存症者とその家族。経済的DV…。リアルな事例から現代日本を浮かび上がらせ、実践的な打開策を満載。	信田さよ子	春秋社
2	女の子は本当にピンクが好きなのか	「女の子といえばピンク」という思い込みは、どのように生まれてきたのか？〈ピンク〉という色の持つ社会的意味の変遷を辿る。気鋭のライターによる、現代女兒カルチャーへの斬新な提言。	堀越英美	Pヴァイン
3	私が泣かない理由 シングルマザー経営者の 幸せの作り方	27歳、バツイチ、子持ち、ノースキル。離婚後、親子3人どうやって食べていくか。追い詰められた私が考えついたのが、「自分で仕事を作ってしまう方がいい」ということだった。手元には、やっとのことでかき集めた30万円。私の起業家としての第一歩はここから始まった。「不安はあったけれど、怖くはなかった。絶対に成功させる、それだけが子供たちを守る方法だと分かっていたから」“主婦”から起業家へ！頑張る女性すべてに贈る幸せ仕事術。	中村仁美	幻冬舎
4	リーダーをめざす貴女へ Bringing the People Deal	過去、現在、未来のすべての女性たち—ワーキングマザー、働き始めたばかりの女性、家にもオフィスにも活躍する女性、リーダーを目指すあらゆる職業の女性、そしてリーダーを目指す貴女にこの本を。ステップアップしたいすべての女性必見。グローバル企業の女性リーダー育成プログラムから得る学びとは。	シスコシステムズ 合同会社	ダイヤモンド社
6	一生使える「女性リーダー」の 教科書「あの人について いきたい」といわれる	メンバーをまとめ、成果を上げる鍵は“サーバント・リーダーシップ”にあります。2、3人のチームから100人超の組織までをまとめあげてきた“伝説の女性リーダー”がその秘訣を初公開。	山本幸美	大和出版 (文京区)
7	ウエディングドレス	結婚式を変えた女たち 生き立ちも性格も体つきも対照的な女子高の同級生、玖美と窓子。花嫁衣装に魅せられた二人の夢は、太平洋戦争が終わったらファッション関係の仕事に携わること。しかし、やっど訪れた戦後の日本社会には女性が働くことへの偏見、封建的な因習がはびこっていた。世界中の女性に愛されるウエディングドレスを制作し、国際的なファッションデザイナーとして活躍する佐倉玖美。草分け的な婚礼貸衣装業を展開し、結婚式のひとつのスタイルを築いた服飾研究家の田代窓子。戦中から戦後の高度成長期。東京、京都、姫路、パリそして大阪を舞台に、この国にブライダルビジネスを根付かせた奇跡の歩み。二人の少女の「夢」と「自立」をめぐるレジスタンスを鮮やかに描くビルドゥングスロマン。	玉岡かおる	幻冬舎
8	女性白書(2016) 「一億総活躍社会」と女性 日本婦人団体連合会【編】	2016年版の女性白書では『一億総活躍社会と女性』をテーマに、改めて女性と平和、女性差別の現状をとらえ直します。2016年版の女性白書では『一億総活躍社会と女性』をテーマに、改めて女性と平和、女性差別の現状をとらえ直します。統計や各種資料も充実。	日本婦人団体連合会	ほるぷ出版

9	「人生案内」にみる女性の生き方	母の葛藤、娘の悩み、女性の生きづらさへの、あたたかく、たしかなアドバイス。読売新聞「人生案内」36相談事例の根底に横たわる「心の闇」を読み解く。	大日向 雅美	日本評論社
10	「女性にやさしい」その先へ“資生堂ショック”から新しい働き方を考える	子育てしながらもキャリアをあきらめたくない。そんな思いをかなえるために、働く女性、職場、上司、そして夫…。日本社会はどう変わらなければならないのか。先進企業はもう始めている。働き方改革をするためのポイントがここにある!	AERA編集部	朝日新聞出版
11	DVマンって知ってる?	夫からの暴力により、心の病を発症、うんざりしてしまう離婚調停、それら苦しみに満ちた過去の体験の数々と、そこから抜け出し光を見出した現在の心境が、明るく軽快に綴られている。DVにしる心の病にしる、まだまだ世間に正しく認識されていない。同じ苦しみを持つ人を元気づけたいという前向きな著者の心意気が全体に漲っている本書に、励まされ、勇気づけられる人も多いはずだ。	稲葉みるく	文芸者
12	ホンネの五行歌だから女はやめられナイ!	五行歌とは、「五行で書く」としかルールのない、日本の新しいウタの形です。俳句、短歌、川柳…と、日本には様々な短詩型文学がありますが、そのなかでも、いちばん気軽に始められて、いちばん書きやすく、いちばん自分の素直な気持ちを表現しやすい五行歌は今、テレビ、新聞、学校などでひそかに人気急上昇中!本書は数ある五行歌作品のうち、女性のホンネをセキララにうたった秀歌をまとめています。女性の視点で世界を見つめなおしながら、五行歌の魅力をたっぷり体感できる、女ごころ入門にも、五行歌入門にも、最適の一冊。	草壁 焰太	明治書院
13	強父論	94歳で大往生。瞬間湯沸器だった父、阿川弘之に罵倒されること何千回。理屈より感情が先立ち、男尊女卑でわがままで、妻や子供には絶対服従を求める。常に自分が中心でありたい…。故人をまったく讃えない「父と娘」の記録。	阿川佐和子	文藝春秋
14	りこんのこども	「そっか、ママってバツイチなんだ!」「妹だけはパパと血がつながってるなんて、ずると思う」「再婚しないっていったのにやだ!」「俺、父さんの歴代の彼女、みんな知ってたよね」。子どもたちの素直な本音に泣き笑い!3組に1組の夫婦が離婚するといわれる現在、子どもたちは家族をどうとらえているのか。自らもシングルマザーの著者が実話をもとに描く、子どもたちにきいた親の離婚ストーリー6篇。	紫原明子	マガジンハウス
15	ザガズー じんせいってびっくりつき	幸せにくらしていたジョージとベラのところに、ちっちゃなピンクのいきものがやってきました。二人はその「ザガズー」をそだてはじめますが、ザガズーがとんでもないものに変身して…。	作:クエンティン・ブレイク 訳:谷川 俊太郎	好学社
16	見てる、知ってる、考えてる	10歳の頃、何を見て何を考えていましたか?子どもは大人が考える以上に物事の本質をとらえています。もしかしたら、ただそれを言葉にできないだけかもしれない。著者は9歳のときから「小学校に行かずに自宅学習する」という選択をした10歳の男の子。親と離ればなれに暮らしたり、いじめに遭ったこともあるが、10歳にして自由に主体的に生きることを選び実践している。ツイッターでつぶやく言葉があまりに深すぎると話題沸騰。10歳の男の子が書いた自己啓発本。	中島芭旺	サンマーク出版